



かわさき

第155号

議会だより

令和6年8月1日発行
福岡県川崎町議会



▲平山さん



▲加治矢さん

De・愛
みなさんのおかげで
20年

▼梅本さん夫妻



▲寺田さん・徳丸さん 母娘



De・愛で出逢った方達(P2・3・4・16)

6月 定例会議

みんなの声聴かせてください 2

発議 6

一般質問 8

川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

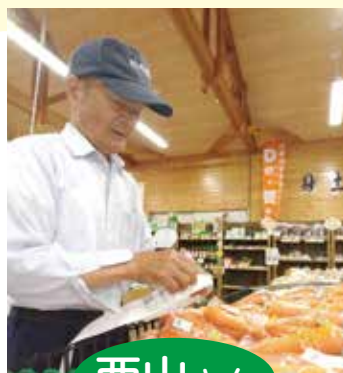
QRコードからもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



みんなの声

生産者さんの声



西山さん

- キャベツ
- 人参



毎日の収穫が楽しみ、
病気なし



井上さん

- 米



油かす、レンゲ草の
有機肥料で



沖嶋さん

- ピーマン
- まくわ瓜



売れるのと
晩酌が楽しみ



小山田さん

- ジャガイモ
- サトイモ



動物にトウモロコシを
やられたがイモの出来は良い



小柳さん

- 精肉



朝早いのがつらいが
売れたら気持ちがいい

お客さんの声

地元のみそ、
しょうゆがうまい。
生産者がわかるのが良い。
飯田さん

ここの芋づるが一番、
子どもや孫が佃煮を
待っている。
梅本さん夫妻
(若松から)

トルコ桔梗を購入、
新鮮なものが
なんでもある。
松島さん

屋久島から
娘のところへ。
とても便利。
寺田さん・徳丸さん
(母娘)

聴かせてください!!

今回はDe・愛の生産者さん、お客さんにインタビューしました。



北永さん

- なすび
- ジャガイモ



休みの日はほかの店に行ってお勉強



原口さん

- ぶどう
- 梨



川崎町のぶどうと梨の良さをもっと知って♡



千住さん

- たけのこ
- わらび
- 野菜



山歩きで山菜さがし、味には自信あり



小林さん

- ブッキーニ
- ししとう



家庭菜園から始めて独学でやるのが楽しい



原田さん夫妻

- うどん
- かしわめし



こだわりの出汁、味を決めるまで試行錯誤



知京さん

- なすび
- きゅうり



堆肥を使い濃い味に

花の持ちがいい、素朴な感じが良い。

加治矢さん

トマトがうまい。満足している。

村上さん

野菜が新鮮、品ぞろえが良い。

井上さん

トマト、野菜が安くて良い品。

平山さん



みんなの声／聴かせてください!!

今回はDe・愛の従業員さんにインタビューしました。



従業員さんの声

良いスタッフ
ばかり、
働き甲斐がある

太田ちよこさん

生産者と
お客さんの
ふれあう時間が良い

吉田さやかさん

不安だった
レジにも
慣れました

中村ちえこさん

自慢の野菜、
生産者に感謝

竜円ちせよさん

来る方の
憩いの場に
なっている

片桐くみこさん

夏の
ブドウと梨は
絶品です

松本みゆきさん

みなさんの
おかげで
20年目

浦野かよみさん

私も20年、
水と空気
おいしい野菜

荒木てつこさん



こだわりの
堆肥と育成で
おいしい野菜

永井じゅんこさん

手伝いの
つもりがもう4年、
推しは小松菜

荒木せつこさん

安くて新鮮、
いっぱい食べてね

梅田とよこさん

もうすぐ夏、
甘くておいしい
フルーツがたくさん

藤川ゆみさん



店長

樋口ゆうすけさん

【課題・プラン】

- 魅力を発信
- ホームページの開設、SNSの活用
- 期間限定品を発信

補正予算

●一般会計

補正額

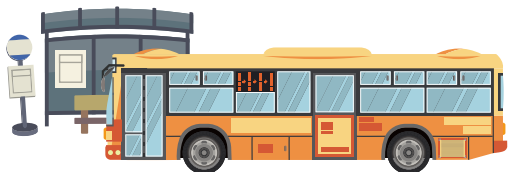
2億2,151万円

- ◆ 定額減税補足給付金事業…………… 1億110万円
- ◆ 地域子育て支援事業
(児童相談システム導入)…………… 689万円
- ◆ 予防事業(定期予防接種委託料)…………… 3,620万円

川崎町 地域公共交通計画 策定

基本目標

- 使いやすく、使い続けられる公共交通
- 町内公共交通のサービスアップによる
利便性向上
- 関係機関との共創による利用促進



川崎町の公共交通の充実を目指します。

計画期間

令和6年～令和12年(7年間)

財産の取得

税公金セルフ収納機 1台を購入

(納付書20枚まで、一括納付が可能)

9,000,200円

購入目的

川崎町役場内の福岡銀行派出所の撤退予定に伴い、窓口業務のDX化(収納機導入)を行い住民の利便性の確保、収納手続きの効率化を図るため。



請願

あなたの声を国に届けます

アスベスト公害に備え除去費用・被害者救済の 公的支援拡充を図る請願を採択

アスベスト(石綿)建材は、発ガン性が確認され使用禁止になりましたが、その処理にも様々な課題が残っております。

除去費用、治療費助成の拡充を求める内容の請願を採択し国の関係機関に意見書を送付しました。

* 請願とは…個人、法人が国や自治体への希望、要望を議会に代弁してもらうこと

* 意見書とは…請願の趣旨を要約し、議会の意思としてその意見をまとめた文書

川崎町長の不信任決議案⇒賛成少数で否決

提出理由

西田原教育集会所改修工事において町長室にて官製談合を行ったと聞いた。

賛成討論 自分もこの内容については聞いており、主張は全て信じられる。

反対討論 主張する内容には確たる証拠がなく、不確かで不正確な内容である。

政時喜久美議員の辞職勧告に関する決議⇒賛成多数で可決

提出理由

- ① 不確かな根拠で町長不信任決議案を出し、議会を混乱させ権威をおとしめた。
- ② ①により行政、職員、まちおこしに励む町民等の行動意欲を阻害した。
- ③ 行政区長会での言動が議員として許されるべき問題ではない。

賛成討論 政時議員は旧態依然とした侮辱的、独善的言動を繰り返し、看過すれば住民からの議会の信頼を失いかねない。

反対討論 なし

政時喜久美議員に対する懲罰動議成立⇒懲罰委員会が審査

提出理由

6月4日の本会議の場での政時議員の言動は会議規則の中の「議員は議会の品位を重んじなければならない」に違反している。また、不穏当発言を繰り返し、議会の秩序を乱した。

→委員会の審査結果は※戒告の懲罰⇒賛成多数で戒告の懲罰が科されました

※戒告とは… 議会の議決を経た戒告文を公開の議上で議長が読み上げ、議員の言動が何に違反し、いかに議員としてあるまじき言動であったかを述べ、二度とないよう戒めること。

懲罰には、他に陳謝、出席停止、除名の処分があります。

令和6年度 第1回川崎町議会(6月定例会議) 議案一覧と賛否結果

区分	案 件	内 容	賛 否 の 結 果															
			千 葉	寺 田	川 根	中 山	政 時	山 下	樋 口	櫻 井	手 嶋 寛	繁 永	松 田	杉 本	見 月	松 岡	手 嶋 恵	
報告	専決処分7件	条例の一部改正など	報告のため採決はありません															
	継続費繰越計算書	継続費のうち、支出の終わらなかったものを翌年度に繰り越すもの	報告のため採決はありません															
	繰越明許費繰越計算書	支出の終わらなかったものを翌年度に繰り越すもの	報告のため採決はありません															
人事	教育長の任命	任期満了に伴い森教育長を再任するもの	(同意) 簡易表決															
	固定資産評価員の選任	税務課長の異動により中村税務課長を選任するもの	(同意) 簡易表決															
財産	財産の取得	P5を参照	(可決) 簡易表決															
計画	地域公共交通計画	P5を参照	(可決) 簡易表決															
条例	職員定数条例の一部改正	ひまわり園開設に伴う職員定数の改正	(可決) 簡易表決															
請願	意見書採択の請願	P5を参照	(可決) 簡易表決															
補正 予算	一般会計	P5を参照	(可決) 簡易表決															
発議	川崎町長の不信任決議案	P6を参照	●	●	●	欠	○	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	
	政時議員への懲罰動議	P6を参照	○	○	○	欠	断	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	
	政時議員への辞職勧告決議	P6を参照	●	○	○	欠	断	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	

賛否表の表示は、○賛成、●反対、⊖欠席、⊙退席となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

議会日誌

4 月	5 月	6 月
15・22日 事務検査特別委員会	17日 宮崎県五ヶ瀬町議会視察来庁	20日 佐賀県有田町議会視察来庁
常任委員会	28日 議会運営委員会	第1回川崎町議会(6月定例会議)
5・18・19日 広報広聴常任委員会	常任委員会	4日 本会議・議会運営委員会
12日 建設産業常任委員会	10・27日 建設産業常任委員会	5日 委員会(総務・民生・建産)
16日 民生文教常任委員会	13・23日 民生文教常任委員会	6日 議会運営委員会
17日 総務常任委員会	15日 総務常任委員会	7日 本会議
24日 総務常任委員会(山口県周南市)		10・11日 懲罰特別委員会
		11日 予算決算常任委員会・広報広聴常任委員会
		12日 本会議(一般質問)
		13日 本会議(最終日)・全員協議会・議会運営委員会

議会の傍聴

においでください

次回定例会予定

◎9月 3日…本会議(初日)

◎9月 6日…本会議(中日)

◎9月13日…本会議(一般質問)

◎9月17日…本会議(最終日)



一般質問 よりよいまちづくりをめざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。質問・答弁の詳細はQRコードから見れます

町政を問う!!



まさとき きくみ 議員
政時喜久美

問 町長交際費の支出根拠は

答 町の基準に基づいている

動画は
コチラ



議員 交際費の支出が町長等となっているという根拠は。

総務課長 町の規定する交際費支出及び公開に関する基準に基づき運用。

公金の不明紛失

議員 社会教育課で保管されていた公金の内153万7千円が不明紛失したことの庁内調査や田川警察署の捜査はどうなっているか。

教育長 令和5年12月13日から1月9日まで庁内調査後、警察署の捜査が始まった。警察からの報告はないが、捜査協力は

しており捜査は継続中です。

空調設備の効果

議員 令和4年度に実施した庁舎及びコミュニティセンターの空調設備等導入により、光熱水費等の削減ができたと思うが事業の費用対効果はどうなっているか。

防災管財課長 事業に対する効果は出ている。

De・愛キャンプ場

議員 De・愛うらのオートキャンプ場建設計画の経過と事業費、今後の計画を問う。

町長 地元との協議が不調に終わり計画は白紙となった。

事業費は2年間で1870万円支出。

議員 オートキャンプ場建設用地買収費や業務委託費が予算措置されているが予算執行はしないで不用額になるのか。

町長 予算計上はしていない。

入札監視

議員 公共事業の入札に関し業務を監査し勧告する入札監視委員会を開催したらどうか。

町長 入札結果は公表しており適正に行われている。



てしま まゆみ 議員
手嶋真由美

問 AED収納箱に三角巾を

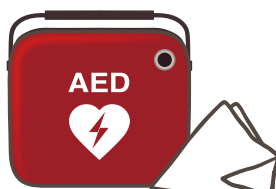
答 購入に向けて準備中

動画は
コチラ



議員 AEDの収納箱に、女性のプライバシー保護に使える、骨折や出血を伴う時は、固定や止血等の応急手当に使うことのできる三角巾を入れてはどうか。

防災管財課長 調べてみたところ、既に、三角巾を導入している自治体も多数あったので、購入に向けて進めている。



問 熱中症特別警戒アラートの対策は

答 ホームページ・ライン・防災無線を活用

議員 熱中症による健康被害を防止するためのクーリングシェルの指定はあるか。

健康づくり課長 現在、指定はない。

議員 今後、このシェルターに関して、庁舎内、コミュニティセンター等、冷房完備のある所を

解放できないか。

健康づくり課長 今のところ町としては指
定していないが、庁舎1階、コミュニティセンター、図書館、老人福祉センター1階を目的の範囲内で、使用して休憩していただければと考える。

議員 「熱中症特別警戒アラート」の運用期間は10月23日まで、この間の町民への情報周知はどうするか。

健康づくり課長 筑豊地域に発令された場合、ホームページ、ライン、防災無線によって周知したい。

動画は
コチラ



問 高齢者の孤立化対策は

答 人と人とのつながりを育む事業の推進を図る



ちば かよこ
千葉加代子 議員

議員 本町の高齢者の孤立化の現状は。

高齢者福祉課長 孤立化の原因は、家族、親族との関係の疎遠化、ご近所や友人とのつながりの希薄化、未婚率の上昇が考えられており、コロナウイルス感染症の流行後は、人との接触を避けるようになり現在も影響が続いている。第10次川崎町高齢者保健福祉計画による高齢者単独世帯数は2724世帯で、令和2年度から3年間で64世帯増加している。

議員 国土交通省の発表によると、高齢者の孤独死は、2003年の1441件から20年間で50倍になっているが、本町での対策は。

高齢者福祉課長 高齢者の孤立化を防ぐためには、外に連れ出すきっかけ作りが必要と考える。本町では「見守りネットワーク」、配食サービスの見守り、公民館等を拠点に地域住民の介護予防や見守りを目的とした「地域いきいき健康サロン」、買い物支援と介護予防を目的とした「地域い

きいきお出かけサロン」を実施している。今後のこれらの事業を含めた人と人とのつながりを育む事業の推進を図り、高齢者の孤立化防止に取り組んでいきたい。

他にコンパクトシティ、障がい者への合理的配慮、学校の環境整備について質問しました。



動画は
コチラ



問 大ヶ原の農業用水確保は野呂ヶ池で

答 実現にはまず調査から



ひくち ひでたか
樋口 秀隆 議員

議員 数年後に道の駅を開業するのには地元の朝採り野菜の量を確保することが道の駅の成否にかかわると考えるが対策は。

町長 道の駅は3年後に開設できる見込みで、それを起爆剤として川崎町の農業振興をはかるという動きがあり、ハウスが要るのではないか、補助金を活用し大きな企業法人体をつくる、そんな仕組みをつくっていきいたいと考える。

議員 行政区所有の野呂ヶ池の水を協議して利用させてもらう。

渇水時の許容量なども確かめ有効に野呂ヶ池の水が取水、導水できるのか、このプランに関しては。

町長 実現できれば水の確保ができるが、そのためには各種法律、法案の確認、受益者がどのくらいいるのか、コスト的にも検討が必要。

実現できれば農業活性化に繋がるので調査していきたい。



問 高齢難聴者に町独自の補助制度を

答 ニーズの把握、近隣市町村の動向を参考に検討

議員 障がい者以外の方への対応はハードルが高いが、それを下げて検討を。

高齢者福祉課長 高齢者に対する独自の助成については、様々なことを参考に検討したい。

問 今年の猛暑と少雨対策、健康対策は

答 広報誌やパンフレットで周知を

議員 かなりの熱中症の可能性が示されているが学校以外の健康対策は。

健康づくり課長 広報誌やパンフレットで周知をしながら保健センター等で対応する。



動画は
コチラ



問 人口問題を問う。人口減少対策を 答 総合計画を着実に実施

議員

令和2年度から5年度の人口動態の調査結果、年々約2～3%減少し、令和5年度では439人の人口減となっている。

「子ども子育て支援法」の改正により国はさまざまな対策をとっているが、本町の人口減少対策は。また、地域コミュニティを維持、強化するための取り組みは。

町長

総合計画を着実に実行していくことが人口対策につながると思う。支援策としては、結婚して町内に住む若者に居住費、引っ越し費用、リフォーム代を一部助成する「川崎町結婚新生活補助金」や、保育料の完全無償化を町独自で行っている。

議員

若者が定住しやすくなるため家賃を補助するなど住宅支援の考えは。

町長

家賃の補助は現在していない。若年層に対しての支援は必要と感じているので家賃だけでなく幅広く検討したい。

議員

今後の高齢者支援策や介護サービスの充実について、これまでの取り組み、新たな計画を尋ねる。

町長

スマートウェルネス事業を令和2年から行っており、住民にもなじんできていると感じる。最近では地域いきいき健康サロンを進めており、最終的には公民館を通じて全町的に健康対策を進めていきたい。

議員

教育環境の整備、教育の質向上は定住促進への対策となると思うが、取り組みは。

教育長

教育環境の整備はまちの魅力として必要と考える。タブレット、電子黒板の配備等のICT教育の充実。土曜の風、放課後学習といった学習習慣の定着。不登校対策としてソーシャルワーカーを町の予算で配置するなど取り組んでいる。



動画は
コチラ



問 老朽危険家屋の対策は 答 状況を見ながら対応を考える

議員

本町の老朽危険家屋は現在どれ位あるのか。

住宅環境課長

老朽危険家屋の指定はない。令和5年に追跡調査を実施しておりその内11件が建て替えや解体を行っている。

議員

将来的には老朽化が進み危険の可能性が出てきた時など把握は出来ているのか。

住宅環境課長

危険家屋の指定はないが、老朽家屋については調査を実施している。

議員

倒壊や一部が破損し、保安上危険とみなされた場合、解体等の処置を指導、助言、勧告など通知するため、所有者を把握しているのか。

住宅環境課長

老朽家屋や管理不全空き部屋等は調査を実施して通知等を行い所有者に解体等の説明をしている。

議員

勧告に従って解体等の処置を取られる所有者に経費の一部を補助するなどの支援はあるのか。

住宅環境課長

補助はしていない。支援として解体、売却、活用等の相談を空き家活用サポートセンターが実施しており今後、空き家が増えた場合状況を見ながら対応を考えていきたい。



問 消滅可能性自治体から脱却するには

答 子育て世代、若年層の定住を図っていく

議員

子育てを応援するような独自の支援策はあるのか。

町長

子育て世帯の経済的負担の軽減のため、保育料の無償化、15歳までのこども医療費の無料化等を実施している。子育ての安定化を図り消滅可能性自治体から脱却するよう、子育て世代、若年層の定住を図り、協議をしながら努力して参りたい。

動画は
コチラ



問 早急な高齢者の交通事故対策を 答 関係機関と協議し検討



やました みつあき 議員

議員

65歳以上と75歳以上で運転免許証を持っている高齢者の割合は。

防災管財
課長

町内の運転免許証の保有者数は、9,751人(令和6年4月末現在)で、65歳以上が3,424人で35.1%、75歳以上が1,267人で13%となっている。

議員

昨今、高齢者が運転する車による悲惨な事故のニュースが連日のように報道され、社会問題化している。

こうした中、免許の自主返納が増えているが、町内には生活していく上で車の運転が欠かせな

い高齢者も多い。

その方々のための交通事故対策が早急に必要と考える。

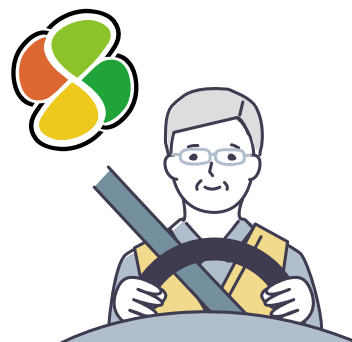
町独自のセーフティーサポートカーの試乗を取り入れた交通安全講習会の開催等、高齢者の運転する車の事故を減らすための検討は。

防災管財
課長

ご指摘のとおりサポートカーの試乗を行っている講習会については、事故防止につながるものと考えます。

住民の要望に合わせて関係機関と協議し検討したい。

また、サポートカー限定免許の啓蒙啓発も続けていきたい。



動画は
コチラ



問 田川広域行政の諸改革を 答 腹を割った協議をしたい



さくらい ひろお 議員



田川地区消防本部

▲火災・救急・災害対応の本丸

議員

田川広域で取り組む環境衛生行政に不協和音が生じ司法問題に発展。このニュース報道も頻繁で田川地区のイメージは悪化。川崎町長が中心となって改革の議論を推進すべきではないか。

町長

赤村長、添田町長、私と田川市長4者で諸々協議したが、今もうまくいっていない。田

川市郡の足並みがそろそろよう更に協議を続ける。

議員

消防組合議会議員に構成団体の首長が就くのはどうかと組合議会でも指摘した。見解を問う。

町長

同感であり、今後議論を深めたい。

田川広域一部事務組合一覧 R6.6.1

略 称	組合長	議長
消 防	永原(大任)	田 守
田川広域	永原(大任)	田 中
衛生	原口(川崎)	佐藤
田川川崎	永原(大任)	田 中
東 部	黒土(福智)	佐々木
斎 場	原口(川崎)	尾崎
水 道	永原(大任)	畠田
介 護		

問 北九州地域との 政策連携を

答

企業誘致の土地確保を検討したい

議員

令和9年度、北九州空港は3000mに改良されてアジアの物流基地になる予定。これを見据え本町はどんな準備をしているか。

町長

現時点で具体的計画はない。企業誘致には用地が必要であり、その確保を念頭において構想を練ってみたい。

問 保育園児に算数・国語 教育導入を

答

保小接続の在り方を更に研究したい



動画は
コチラ

問 町の空き地を民間業者へ安く提供しては 答 申請があれば検討する



議員 桜・芝生公園、またDe・愛横のDe・愛広場の用地取得費及び建設事業費は。

商工観光課長 桜・芝生公園については用地取得費1,732万2,435円。建設事業費、1億403万8,900円。またDe・愛広場については、用地取得費248万1,517円。建設事業費が2億3,378万9,600円。

議員 どちらも大変広大な土地であるが、現在の管理状況を探ねる。

商工観光課長 桜・芝生公園は緑青育成会。De・愛広場は下真崎長寿会に管理を委託している。

議員 本町が所有する空き地を民間業者に格安で提供し、建て売りを建設後、他市町からの移住者を増やすなどの施策は可能か。

町長 民間事業者から申請していただければ、その後検討する。

議員 今後道の駅ができ、交流人口増加を目指していく中、定住者増加の施策にも取り組んでいただきたい。

働く場を確保できれば、本町に定住者が増えるのではないかと思います。現在の廃校を企業誘致に活用するために、道を整備する計画は。

町長 鷹峰中学校は来年度中に道が完成できるということで今計画している。

議員 令和6年4月から、田川地区のし尿処理集荷エリアが変更になっているが、本町として何か手だてを行ったのか尋ねる。

町長 本町ではトラブルや意見は全くなく、し尿処理業務が執り行われている。



5/17 宮崎県

6/20 佐賀県

五ヶ瀬町議会・有田町議会から 視察来庁



▲五ヶ瀬町議会



▲有田町議会

通年議会・議会基本条例についての視察に来られ、さまざまな質疑回答や意見交換ができました。有意義な視察研修となりました。

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



建設産業常任委員会

企業振興セミナーの参加者を増やしていくようなPRを

中小企業（小規模事業所）の振興については、①中小企業者の経営基盤及び従業員の育成の強化の促進、②中小企業者の創業等の促進、③中小企業者と地域の共同関係の創出、④地域資源を活用した事業の推進、⑤観光事業との連携による協力関係の創出、⑥全ての住民が参加できる産業振興の推進、⑦その他町長が必要と認める施策の推進の7つの基本方針を柱に施策を立てています。

商工会議所では、素晴らしい講師の方のセミナーなどが行われているが参加者が少ないと聞いていたので、町としてのどのような対策があるか聞いたところ、商工会議所と連携して募集をふやしていくようなPRをしていこうということでした。

魚楽園の早期の開園を望む

町の観光振興の将来ビジョンとしては、地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する観光の形態を目指しており、このことをもとに、「体感する」、「実感する」、「共感する」を好循環させて、さらなる知名度・交流人口を増加させていきたいと考えているそうです。

川崎町と言ったら、魚楽園と言う人が多いと思うが、もう何年も閉鎖になったままなので町のほうから開園をお願いするというようなことは出来ないか尋ねたところ、所有者に今後についてお聞きして、それをもとにどのような方向に持っていくかということを考えてやっていきたいということでした。

農業用ハウスについて、改めて考えていただきたいと要望

農産物生産拡大検討会議について、調査しました。

この検討会議は、道の駅の開業にむけて野菜等の生産を拡大する施策について検討するものであります。

この会議では、町内で年間を通じて生産拡大が可能な農産物について、またその生産拡大に必要な施設や設備について、構成員より様々な貴重な意見が出ており、今後も、米、野菜、果樹、それぞれの生産拡大に向けての具体的な検討結果を提案できるよう、さらに検討協議を行い、そして新たな生産者、出荷者の掘り出しにも注力していきたいということでありました。

ほかの町にないものを生産して売るということは売上げを上げる意味では、非常に重要なことと思うが、普通の直売所みたいな生産能力が川崎町は十分ではないので、まずはそこに注力していきたいと考えているとのことでありました。

また、今検討しているのが新規の農業者を育てるというもので、会議では、農業者を増やす方策についても考えているそうです。

そして、ハウスについては、検討会議のなかで多くの意見があがっており、この件についての関心が高いように感じるので、町として改めて考えていただきたいと要望しました。





総務常任委員会

地域、家庭での防災意識を高めよう

福岡県が作成した「平成 24 年福岡県防災アセスメント」の結果に基づき
【川崎町では西山断層地震 震度6以上発生を想定】

- ・食料供給対象人口 7,195人→720人(10%)
720人に対し3日間供給可能な飲料水、米、ミルク等 → $720人 \times 3日間(9食) = 6,480食$ を備蓄目標
- ・哺乳瓶、紙おむつ、衛生用品等生活必需品も目標に即し備蓄

- ・一度に多量の消費期限を迎えるもの
- ・購入数にばらつきがあるもの

今後、一定数の備蓄数量を購入し
将来的には、ばらつきをなくすよう計画

消費期限が迫っているものは、町内の食進会、学童クラブに渡せるものは渡し、飲料水については、使用用途がなく、最終的には廃棄とのことでした。

廃棄はもったいないので、早めの検査を行い、無駄にならないよう要望しました。



▲川崎町地域防災センターでの説明



▲備蓄状況

自主防災組織は、櫛毛、安宅、下真崎、大島の4行政区が設置しています。

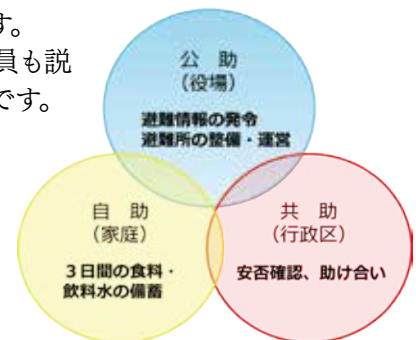
自主防災組織の活動の重要性、地域の団結力の必要性について県の職員も説明に来ていただき、川崎町行政区長会総会時に設立のお願いをしているようです。

Q 自主防災組織の設立は、行政区単位ですか？

A 地域で活動ができれば行政区単位でなくても設立が可能です。

公助・共助も重要ですが、自助の大切さ、家庭での備蓄や防災グッズの準備の広報に力をいれていただくよう要望しました。

自主防災組織……「みんなの地域はみんなで守る」という地域連携に基づき設置される防災組織のこと



魅力ある道の駅に向けて先進地視察

4月24日、山口県周南市にある道の駅ソレーネ周南への研修視察を行いました。

川崎町に建設予定の道の駅と規模が似ており、また、国道沿いにあること、防災の機能があるということで、参考になる部分が多くありました。

周南市の道の駅の出入口は信号を設置していますが、まれに事故が起こるようです。

川崎町では、警察の指導により出入口に信号機を設置しないとのことですので、より安全対策が必要です。また、川崎町の道の駅は防災設備として、かまどベンチ等は予定していますが、井戸はないようです。周南市の道の駅には、飲み水としては適していませんが、手押し式の井戸が設置されていました。被災したときに水の需要は高く、井戸の設置は必要ではないかと感じました。

大屋根の設置は、鳥による被害があり、その対策に苦慮しているようでした。

建設後にしかわからない部分もありますが、全てのことに「他にはない『道の駅』」に向け、さらなる取り組みを進めていただきたいと思います。



▲研修中



▲手押し式井戸



▲ソレーネ周南全景



民生文教常任委員会

自殺を防ぐ

町の取り組み

こころの相談

臨床心理士に悩みやストレス等の個別相談ができます。

こころサポーター学習会

こころを元気にするイベント(去年は落語)を開催。

委員会から

電話での相談ダイヤルやLINEで相談できるような窓口の設置を要望

コミュニティスクールの現状は

コミュニティスクールって？

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を目指すための仕組み

町内すべての小中学校に設置しており、基本的に年3回運営協議会を行っている

成果 持久走の見守りサポートや本の読み聞かせに参加してもらい教育活動への関心が高まった

課題 委員の人材の確保

川崎中学校と川崎小学校の授業風景を視察

授業でのタブレットや電子黒板などのICT機器の活用状況を確認のため授業の様子を視察しました。教科の授業だけでなく、運動会練習や社会科見学のときにも活用しているそうです。小中学校ともにしっかりと活用されているようでした。

効果

- 動画等を使用することで学習の意欲が高まる
- 発言の苦手な児童でもチャット機能を使って意見を伝えることができる
- 動画によって視覚と音で記憶に残りやすく授業内容の定着につながる
- ペーパーレスで対応できる箇所がふえたため、印刷業務が減り教職員の業務改善につながっている

Q 持ち帰りの際、自宅での通信環境は整っているのか

A 小学校では通信環境がなくても使用できるアプリを使っているので問題はない。
中学校は各家庭でWi-Fiが整備されているか、スマートフォンのデザリング機能を使って使用可能となっている。

委員会から

今後通信環境のない生徒が入学するなども考えられるため、ルーターやシムを入れた端末を数台整備するなどの対応を要望



▲ダンスの振り付けを電子黒板を見ながら



▲1人1台のタブレットで調べもの学習



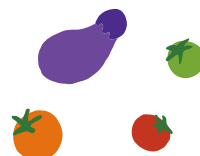
出荷者組合長
西山 一郎さん

課題

- ・地域密着型の場所だが、マンネリ化をさけて新たなイメージを
- ・野菜は、生産者高齢化による出荷品目、量の減少が心配

プラン

- ・若いお客様対応にホームページやSNSでのPRを充実させ、農業や田舎を体験してもらう。
- ・道の駅は川崎の産物を知ってもらう良い構想、De・愛の運営側にとっては今後の町との調整が大変重要。



観光リンゴ園を追跡レポート

事業費

この5年で、売り上げは86%増の約670万円、経費は投資的経費を除くと約1,280万円ではほぼ横ばい。

観光戦略の側面もあり今後大きく期待が出来る。昨年は防犯カメラ設置と新規井戸整備に別に事業費を取った。

販売戦略

農産物直売所De・愛をはじめ、南国フルーツ(岩田屋本店、岩田屋久留米店)、エフコープ生活協同組合などで販売。「希望のリンゴ」(アピール名)として高い評価を得ている。

令和5年度からは、リンゴの木オーナー以外にも収穫体験ができるよう「リンゴ狩り」を実施し、収益増と都市部との交流人口の増を図り川崎町のイメージアップに貢献している。

果樹本数

老木を間引き収穫果樹本数は減少したが、適正な樹木間隔が取れて生育環境が改善したことにより1本当たりの収穫量が増え、総量は以前と同等であり、現在若木も含め約700本ある。

樹の収量のピークは5年から20年だが、管理者の独自技術により、それ以上の期間で収穫できている。

品種は、つがる、ふじ、黒千寿をはじめ、ルビースイート、アルプス乙女、シナノゴールド、シナノスイート、王林といった多様な品種を栽培している。



編集 後記

今年の夏は、暑い日が続いておりますが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

最近の気象は、ゲリラ豪雨など例年と比較できない現象が、起きているように思います。日頃からの防災意識を高めることも大事です。町民の皆さまにできるだけわかりやすく、親しみのある紙面にしていきたいと思っています。広報・広聴の両面を意識して、一方的ではなく皆さまからのご意見なども頂き、双方向でやっていきたいと思っています。今後とも、引き続きのご支援とご愛読をお願い申し上げます。(寺)

「発行責任者」					
議長	大谷春清				
「広報広聴常任委員会」					
委員長	中山信和	副委員長	手嶋真由美	委員	寺田康一
委員	見月秀隆	委員	樋口秀隆	委員	櫻井英夫